



きくよう



イラスト作成：ChatGPT（OpenAI）によるAI生成

◎表紙	委員会紹介	P19
目次	アンケート調査結果	P20～21
定例会	議会の活動状況	P22～23
臨時会	Tea Time	P24
一般質問		P4～18

令和7年第2回菊陽町議会定例会

6月4日～6月16日

付議事件

- ◇報告第6号 専決処分の報告（道路管理瑕疵による損害賠償額の決定及び和解）
- ◇議案第34号 町営住宅駐車場設置管理条例の一部を改正する条例の制定
- ◇議案第35号 令和7年度菊陽町一般会計補正予算（第1号）
- ◇議案第36号 工事請負契約の締結（菊陽空港線函渠構造物築造工事（2工区））
- ◇議案第37号 菊陽町土地開発公社の設立
- ◇議案第38号 町道路線の認定
- ◇議案第39号 合志市道路線の廃止に係る承諾
- ◇議案第40号 合志市道路線の認定に係る承諾
- ◇報告第7号 令和6年度菊陽町一般会計予算繰越明許費繰越計算書
- ◇報告第8号 令和6年度菊陽町一般会計予算事故繰越し繰越計算書
- ◇発議第4号 菊陽町議会会議規則の一部を改正する規則の制定
- ◇発議第5号 菊陽町議会傍聴規則の一部を改正する規則の制定
- ◇発議第6号 給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書（案）
- ◇発議第7号 選択的夫婦別姓制度を導入せず、旧姓の通称使用の法制化を求める意見書（案）
- ◇同意第3号 菊陽町固定資産評価審査委員会委員の選任

議員の賛否を公開します

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数 賛成 反対	鬼塚	吉村	藤本	馬場	廣瀬	矢野	大久保	西本	佐々木	中岡	布田	佐藤	甲斐	岩下	上田	小林	坂本
			賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成	反対	賛成
議案第35号	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
議案第37号	可決	16-1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
発議第7号	可決	10-7	●	○	○	●	○	●	○	●	○	○	○	○	●	●	○	●	○

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定・継続審査 ※報告は採決がないため削除
 ※議長は議事進行のため賛否表明はしません。
 ※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。（それ以外は原案のとおり可決）

Q 原水駅周辺の土地区画整理事業に関わると思うが、どのように関わるのか。

A 世界的な半導体製造企業の進出、その後の土地利用の動向などを踏まえ地域の秩序ある整備をするために土地開発公社の設立が必要と判断した。

議案第37号

現在、可能性調査業務を行い検討している新たな工業団地に係る予算である。主な委託料の内容は、測量設計や地質調査、交通解析、基本設計、環境影響評価の委託料。

議案第35号

Q 企業誘致費で委託料が1億4047万3000円ということであるが、詳細は。

選択的夫婦別姓制度を導入しても夫婦同姓を望む方が別姓を強いられることはない。制度を導入すれば別姓を望む方が別姓を選べるようになり、望みどおりの選択をする人が増えるのが制度の改正の中身である。

現在の夫婦同姓を強いる制度の中で、多くの女性が結婚後に姓を変えてきた。そのため改姓による不利益、不便の多くが女性側に負わされてきた。

誰もが、その人らしく生きていける社会を目指す、法が個人の尊厳を傷つけていけば国民の合意の上で法整備を行う必要があると考える。よって発議第7号には反対する。

令和7年第2回菊陽町議会臨時会 4月21日

付議事件

- ◇承認第1号 専決処分の承認を求めること（菊陽町税条例の一部を改正する条例）
- ◇承認第2号 専決処分の承認を求めること（菊陽町国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
- ◇承認第3号 専決処分の承認を求めること（令和6年度菊陽町一般会計補正予算（第8号））
- ◇承認第4号 専決処分の承認を求めること（令和6年度菊陽町下水道事業会計補正予算（第3号））
- ◇報告第2号 専決処分の報告（工事請負契約の変更（菊陽空港線堀川函渠築造工事））
- ◇報告第3号 専決処分の報告（工事請負契約の変更（菊陽第二地区7号街区公園整備工事））
- ◇報告第4号 専決処分の報告（工事請負契約の変更（菊陽杉並木公園拡張整備水路改築工事））
- ◇報告第5号 令和6年度菊陽町下水道事業会計予算繰越計算書
- ◇議案第33号 工事請負契約の締結（菊陽空港線函渠構造物築造工事（1工区））
- ◇同意第2号 菊陽町固定資産評価員の選任

議員の賛否を公開します

○は賛成 ●は反対 棄は棄権 除は除斥 欠は欠席 早は早退

議案番号等	結果	表決数		鬼塚	吉村	藤本	馬場	廣瀬	矢野	大久保	西本	佐々木	中岡	布田	佐藤	甲斐	岩下	上田	小林	坂本
		賛成	反対																	
承認第2号	可決	16	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

結果は、可決・否決・同意・適任・採択・不採択・承認・認定・継続審査 ※報告は採決がないため削除

※議長は議事進行のため賛否表明はしません。

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。（それ以外は原案のとおり可決）

町の考えを問う 一般質問



うえだ しげまさ 南方大人足線延伸道路計画は
上田 茂政 どう進めていくのか …P 5

にしもと ともはる 小学校体育館への空調設備整備事業は
西本 友春 …P 6

ひろせ えいじ 菊陽空港線完成後の渋滞緩和はどうなる
廣瀬 英二 …P 7

よしむら きょうすけ ひばりヶ丘公園の防犯カメラは
吉村 恭輔 どこに設置するのか …P 8

おおく ほ あきら 外国人または外国資本による
大久保 輝 土地取得への規制は …P 9

やの あつこ 町長公約の産業地産地消の推進について
矢野 厚子 …P10

かい えいじ 環境保全で住民・行政・企業の
甲斐 榮治 信頼を築けているか …P11

ふじもと あきふみ 特定公共下水道事業への説明責任は
藤本 昭文 果たしたか …P12

ばば こうせい 南部地区新設道路計画実現に向け、
馬場 功世 今後の施策は …P13

ささきりみこ 防災会議、防災職員の女性起用を
佐々木理美子 増やすべき …P14

こばやし くみこ 米価支援として、低所得者に
小林久美子 1万円支援ができないか …P15

おにつか よう 道路の異常を早期検知するための対策は
鬼塚 洋 …P16

ふた さとる 農地の保全と集落地内開発制度との
布田 悟 整合性は …P17

さとう たつみ さんふれあを有効利用することで売上増へ
佐藤 竜巳 …P18

一般質問は会議録に基づき、質問者本人が編集し、議会広報特別委員会で校正し、掲載しています。

Q 南方大人足線延伸道路計画はどう進めていくのか

A 久保田台地の開発構想を見据えた、最適なルートや道路構造の検討を行う



う え だ し げ ま さ
上田 茂政 議員



Q 10年、20年後の町の発展を見据え、久保田台地についてどのような町づくりの構想を描いているのか。また事業実施に向けたスケジュールをどう考えているのか。

A まずは南方大人足線延伸道路の整備に着手する。令和10年度の道路事業認可後、道路東側地域について農地との調整を行い、「工業・流通ゾーン」としての整備を進める。単なる物流倉庫ではなく、あくまで一例だが、産業発展や人口増加に応じ

た次世代型の物流拠点の形成を念頭に、「町づくり型ロジスティクスパーク」をイメージしている。

総合運動公園化に向けた用地の拡張について

Q 町長がめざす総合運動公園化を実施するためには、用地面積をぎりぎりまで計画するのではなく、駐車場はもちろんのこと、新たな施設や宿泊施設の整備など、将来の発展を見据えて計画を進める必要がある。そのためには、周辺用地の確保を進めるべきと考えるが、町の見解はどうか。

A 今回新たに作成した、第7期総合計画においても、菊陽杉並木公園を町の総合公園と位置づけ、令和8年4月オープン of 「くまモンアバンススポーツパーク」も含め、一体的に管理運営することとしている。



「くまモンアバンススポーツパーク」や、新駅設置、そしてそれらを含め、昨年9月に、駅を中心とした市街地整備のイメージパースを発表し、現在多くのみなさんからこのプロジェクトに対する提案や事業に参画したいとの要望がある。

将来を見据えた計画にすべきであり、用地の拡張を進めるべきとの意見に、町としてもその意見を踏まえ、一定の用地の拡張も念頭に、今年度当初予算では、用地拡張に向けての不動産鑑定などの予算を計上している。

小中学校における熱中症対策について

Q 児童生徒の登下校時を含む、学校生活での暑さによる体調不良や熱中症などが心配されるが、対策や各機関との連携は取れているか。

A 各小中学校の熱中症対策については、暑さ指数を活用しながら、熱中症を予防することを重点にしている。

関係機関との連携については、養護教諭が学校医と相談できる環境を整えており、緊急時には、救急車を呼び、速やかに医療機関につなげるようにしている。



Q 小学校体育館への空調設備整備事業は

A 政策調整会議での議論に基づき実施時期を判断する



にしもと とも はる
西本 友春 議員



Q 子どもたちの学習・生活の場であるとともに、災害時には避難所として活用される体育館等について、避難所機能を強化し耐災害性の向上を図る観点から避難所となる全国の学校体育館等への空調整備を加速するとしており、補助率に $\frac{1}{2}$ で上限額を7,000万円として期間を令和15年度までとしている。小学校の体育館への空調設備整備事業はどのように行うのか。

A 最近の気候変動に伴い、気温が上がる時期は、空調が設置されていないために使用することができない状況となっており、児童や教職員、保護者からも、体育館へ空調設備を早期に設置してほしいとの強い要望をいただいております。できるだけ早く整備したいと考えています。

町での政策調整会議において、今後の町の財源や町全体予算と教育予算とのバランスを考えながら、実施時期を判断する。



くまモンアーバンスポーツパークについて

Q Wi-Fi環境はどのように整備するのか。

A 今後決定される施設の指定管理者においてLAN配線、屋外及び屋内にアクセスポイントを整備することで、くまモンアーバンスポーツパーク北側の駐車場を含め、パーク全体でWi-Fiが利用できるようになるように計画している。



Q 熱中症対策は。

A 救護室を計画しており、全ての部屋に空調設備を設け、休憩可能なスペースも計画している。屋外には、初心者や中級者が利用するフラットエリア内に、雨天時や猛暑日に対応できる750平方メートルの大屋根広場の整備も計画。そのほかに、マイボトルが利用できる給水スポット及びミストシャワーなどの整備を大屋根広場付近に検討している。

体育館へ給水スポット設置を提案

Q 長崎県大村市では、21校の小・中学校の体育館で、熱中症対策と避難所機能の強化のために、7月には給水スポット設置が完了する。

災害時の避難所と指定されている体育館へ給水スポットの設置を進めるべきと提案する。

A 令和5年9月議会の一般質問で回答したとおり、熱中症対策として学校施設全体の空調整備を進めていきたいと考えています。

中学校体育館の空調設備も令和8年度に完了する予定で、今後は、小学校体育館の空調整備を優先的に進めてまいりたい。



Q 空調整備が終わらなければ対策は打てないということであれば、空調整備が終わったところは給水スポットは設置していくと考えていいのか。

A 給水スポットの設置については、空調設備整備後の状況や県内の設置状況等を見ていきながら検討していきたいと考えています。

新たな町営住宅建設を

Q 町営住宅の入居条件では、年間所得約189万6,000円で、令和5年度国民生活基礎調査の所得によると、高齢者世帯の200万円以下の割合は37.7%母子家庭の世帯は24.4%となっている。そのような低所得者対策としても、中代団地の中で解体する住宅の跡地に、新たな町営住宅を建設すべきと提案する。

A 現段階では、新たな町営住宅の建設は予定していないが、今後町全体の町営住宅の在り方を検討する中で方向性を示したい。



その他の質問

○情報発信と収集

- ・双方向の情報発信と収集
- ・音声コードでの情報発信

○（仮称）総合子育て支援センター

○都市計画マスタープラン

- ・中部小校区の各ゾーンは
- ・農産物加工企業の誘致

○中代団地の改修計画

Q 菊陽空港線完成後の渋滞緩和はどうか

A 菊陽空港線に分散することで有効な渋滞緩和対策となる



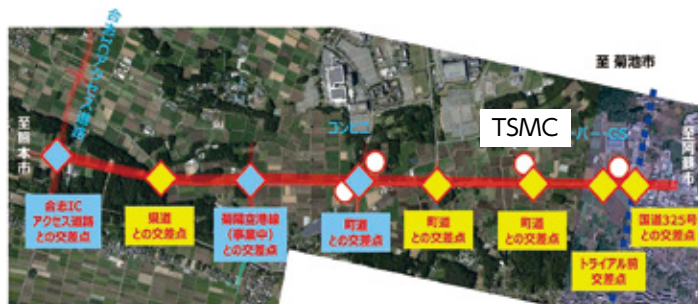
ひろ せ 英二 議員



Q 菊陽空港線延伸道路整備事業は、令和8年度完成となっているが、完成後の渋滞緩和（交通量の流れ）をどのように想定しているのか示せ。

A 現在、国道57号から県道大津植木線へ接続する南方大人足線に集中している車両が、菊陽空港線に分散することで、有効な渋滞緩和対策になると想定している。

◆平面交差・信号処理 ◆立体交差・信号処理



Q 異次元のスピードで進むと聞いているが、工事スケジュールの進捗状況について示せ。

A 県の事業で、菊陽町も連携して事業に取り組んでいる。当初のスケジュールどおり、令和6年度から用地買収に着手している。今年度は一部工事に着手し、令和10年度完成に向けて取り組んでいる。

県道大津植木線・西合志線整備事業（多車線化）

Q TSMC進出に伴う税収増で、恩恵を期待される町民は多い。町民に広く還元できるごみ袋の価格を下げることを提案する。町の考え方を示せ。

ごみ袋の価格

国においても中九州横断道路の「合志く熊本」では、令和5年度に一部工事に着手し、早期完成を目指し取り組んでいる。セミコンテクノパーク周辺の道路ネットワークは、ますます強固になると想定している。

Q 完成後の渋滞緩和をどのように想定しているのか。

A 県道大津植木線の主要交差点となる、南方大人足線、菊陽空港線、合志インターチェンジアクセス線の一部、3カ所が立体交差として整備される。これらの整備により、大津植木線の交通容量が大幅に増加し、車両の分散化や交通の円滑化が見込まれるため、令和10年度末のセミコンテクノパーク周辺の渋滞緩和は大きく進むと想定している。

その他の質問

- ソニーの新工場の社員数
- 社員数増加に伴う新たな渋滞の想定
- 町内の交差点改良
・箇所と工事スケジュール
- 町内の道路表示

A 本町では、指定ごみ袋の価格を下げるよりも、使用枚数を減らすことによる家計への負担軽減に繋がるよう、家庭から排出されるごみの減量化に対する支援を強化していきたい。

ごみ袋価格、2市2町比較

市町	指定ごみ袋（可燃）		
	大（45ℓ） 10枚入	小（30ℓ） 15枚入	小（30ℓ） 10枚入
菊池市	204円	204円	
合志市	200円		150円
大津町	300円		200円
菊陽町	300円		200円

Q ひばりヶ丘公園の防犯カメラはどこに設置するのか

A 東屋付近を確認できるような場所を選定して設置する

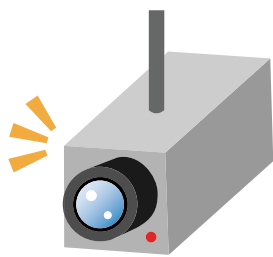


よしむら きょうすけ
吉村 恭輔 議員



Q ひばりヶ丘公園では、数年前よりいたずら、ゴミの散乱等の被害があると区民から相談があった。本年度の予算でクラウド型防犯カメラの借上げ料が計上されたが、どの位置に設置するのか。

A ひばりヶ丘公園では、昨年6月に東屋周辺一帯でスプレーのようなもので落書きされる被害があった。また別日に、東屋周辺でペットボトルや枯れ草が燃やされた状態の残留物が発見された。この被害を受け、原因を検証したが、ひばりヶ丘公園は豪雨時に雨水を貯留する機能を有しており、道路より低い位置にあるため、人目につきにくいのが原因の一つであると考え、本年度、夜間撮影対応のクラウド型防犯カメラの借上げ料を計上した。設置場所については、被害があった東屋付近を確認できるような場所を選定して設置する。



Q ベンチや遊具等に劣化が確認されているが、改修は行わないのか。

A 町が管理する都市公園の遊具等については、都市公園法施行規則に基づき年1回の点検を実施している。さらに、利用者が安全に利用できるよう職員が月1回の遊具点検を併せて実施している。ひばりヶ丘公園では、ブランコの境界支柱柵に軽微な腐食と木製ベンチに破損を確認しており、今年度改修する。

Q 防犯カメラと併せて、人感センサー付きのライトを設置したかどうか。

A 人感センサー付きのライトは、クラウド型防犯カメラと併せて、いたずらを抑止するには有効だと考えるが、クラウド型防犯カメラで夜間撮影が可能であることから、現時点では考えていない。

キャロッピー号の無料運行期間について

Q キャロッピー号の無料運行期間における乗客数は、通常時と比べ増減はどうだったか。

A キャロッピー号の無料運行は、令和7年1月1日より2月28日の2ヶ月間、試行的に全路線を対象に行った。南武線では大きな変化はなかったが、中央循環線では1.6倍の増加、西部線では1.5倍の増加となった。

Q 無料運行を実施して、課題や改善点はあったか。

A ホームページやLINE、回覧など複数の媒体活用し周知したが、無料運行を知らなかったという意見があった。



Q 今後、無料運行を実施する予定はあるか。

A 今回の実施が巡回バスを知っていただく良い機会となり、新規利用者の増加にも繋がるなど一定の効果が得られたことから、今後必要に応じ実施していきたい。

乗合タクシーについて

Q 昨年度の利用状況は。

A 昨年度の利用者数は約3700人で、月平均約310人。1台当たりの乗合率は1.2人。

Q 使いづらいと良く聞かすが、改善は行っているか。

A 乗降場所の再設定や運行曜日の再検討、事前登録方法の簡素化など具体的な検討を進め、サービスの改善に取り組む。

その他の質問

○高齢者の免許証返納

Q 外国人または外国資本による土地取得への規制は

A 規制について、町として検討は行っていない



おおく ぼあきら
大久保 輝 議員



Q 町内における外国人または外国資本による土地取得の実態について、町として把握しているか。

A 現在日本では、土地を取得する際に国籍に基づく制限はないため、町内における外国人または外国資本による土地取得の実態については、特に把握していない。

Q 外国人または外国資本による土地取得が地域に与える影響や、必要とされる規制・対応の考えについて、町の認識を問う。

A プラスの影響として経済の活性化、マイナスの影響として地価上昇、特に居住実態のない投機目的での購入などが心配される。規制について、町として検討は行っていない。

外国人居住者が増加する中、言葉や文化の違いにより、不安を感じられる方も一定数いると思われる、それらの解消は重要であり、全ての町民が、安心して生活できるよう、多文化共生などの取り組みを進める。

土地利用と農業保全・農業振興について

多文化共生について

消防団応援の店制度について

Q 昨年度策定された「菊陽町都市計画マスタープラン」において、久保田台地に新たな開発構想の策定に取り組むとあるが、具体的にどのような内容か。

A 久保田台地の開発構想については、まず南方大人足線延伸道路について、令和10年度の事業認可を目指す。その後、農地との調整を行い、道路東側の流通ゾーンについては、次世代型の物流拠点の形成を念頭に、まちづくり型ロジスティクスパークをイメージしている。

Q 農業振興の観点から「守るべき農地は守る」との方針が示されているが、開発を促進する地域と保全すべき農地をどのように区分しているのか、その基準は。

A 原則として、守るべき農地は、基盤整備事業がされた農地としている。都市計画マスタープランでは、原則を踏まえ、「守るべき農地ゾーン」を設定している。

Q 外国人住民の増加に伴い、町民から寄せられている声や、生活上の課題・トラブルの事例などはあるか。また、そうした状況を踏まえた上で、町としての今後の課題認識や対応方針をどのように考えるか。

A ホームページでの意見募集などで質問に直接当てはまるような声、事例はない。窓口等に寄せられた意見として、ごみの出し方に関するものが数件ある。多言語に対応した看板の設置など、対応を進めている。一層周知に努める。

Q 町として今後どのように地域の調和と多文化共生のバランスを図っていくかとしているのか。具体的な取り組みや考えは。

A もうこれで十分ということではない。これから様々に取り組んでいく。協議をしていくということに尽きる。

Q 本年4月よりスタートした「消防団応援の店」制度について、現在の登録店舗数は。また、現在の登録店舗数を町はどのように考えているか。

A 令和7年5月末時点で18店舗等に登録いただいている。登録数については、初期の取組として一定の成果があると受け止めている。さらに多くの店舗、事業所に賛同いただけるよう、制度の周知を図る。

その他の質問

○住民登録の実態

- ・住民登録をしていない方の実態把握を、町は行っているか。



Q 町長公約の産業地産地消の推進について

A 幅広い産業に地産地消を推進し、町内業者、企業に発注することが重要



矢野 厚子 議員



Q 町長公約の産業地産地消推進の方法は。

A 農産物に限らず、本町の持続的な発展には、建設業、製造業、サービス業等、幅広い産業での地産地消が必要であり、地元の仕事を町内業者、町内企業へ発注することが重要と認識する。これが地域経済の活性化を促進し、雇用の創出、企業の成長、町全体の競争力の向上、環境負荷の軽減につながると考えている。

Q 町内企業は本社が地元にあるかないかも考えるのか。

A 町内に営業所があれば町内の企業という位置づけで考えている。

Q 農業の地産地消と商工業の共同事業は考えないか。

A 農業の地産地消と商工業の共同事業は、流通にかかる費用や環境負荷軽減、新鮮な食材の提供、地域の活性化など、農業、商工業共に相乗効果が期待されるので、マッチングに努めたい。また、農産物の加工工場の誘致については、解決すべき課題

も多く、現在は積極的な誘致は考えていない。



Q 地元の野菜を地元の飲食店で消費するための農家と飲食店の交流会はどうか。

A 「さんふれあ」を中核として、飲食店関係の連携も模索したいと考える。

新たな工業団地

Q 新たな工業団地には、どのような企業を誘致していくのか。

A 半導体産業の更なる集積が期待される。今後も、半導体関連産業の集積に取り組み、くまもとサイエンスパーク推進ビジョンの策定計画に合わせ、県や関係団体と連携を強化し、企業誘致を進める。

若い人の起業

Q くまもとサイエンスパークや知の集積を町は考えているが、若い人の起業に力を貸せないか。

A これからのまちづくりの中で、大学の研究所、企業の研究所、専門学校、スタートアップ企業や研究者や新しくトライする人々を関係人口として集める構想を盛り込んでおり、起業家が菊陽で生まれていくことも考えている。

子どもたちを守る体制

Q 通学路の安全に防犯カメラなどのくらい設置されているか、把握しているか。

A 現在は把握していないが、今後可能な限り学校への情報提供などについて検討していく。



Q 子どもの第三の居場所づくりをどう考えているか。

A 社会構造や経済構造の変化で子どもや若者が、居場所を持つことが難しくなっている。学校や家庭以外で、子どもや若者が安心して過ごせる第三の居場所の重要性が高まっている。令和6年の児童福祉法の改正に伴い、児童育成支援拠点事業が新設された。町はこのような事業を有効に活用しながら、子どもの居場所づくりの取り組みの更なる充実強化を図っていく。

その他の質問

- ・不審者情報の取り扱い
- ・子どもの心のケア体制
- ・不登校の子どもの心のケア体制



Q 環境保全で住民・行政・企業の信頼を築けているか

A 県・町・企業ともに懸念解消のために様々の取り組みを進めている



かい えいじ
甲斐 榮治 議員



P F A S は分解利用可能か

Q 「P F A S は分解して再利用可能である」とのオックスフォード大学等の研究チームの発見を確認しているか。

A 従来は高熱による焼却のみだったが、同研究チームが「P F A S の一部を食品添加物にも使われるリン酸の化合物を使って分解し、フッ素を回収する方法を発見し、環境汚染の防止やフッ素の再利用で資源の有効活用が期待できる」という論文を発表している情報については認識している。

他にも複数の大学や企業、研究チームが可視光線や紫外線や薬品等を利用し、分解・無害化できる技術を開発している情報についても承知している。

地下水涵養多方面で実施

Q セミコンテクノパーク周辺では、地下水位が2030年には対23年度比1・12m低下すると、熊本県は予測しているが、対策を町は把握しているか。

A この地域は毎年5m〜10mの水位の変動が見られる地域であり、地下水が枯渇するような深刻な事態は想定されていない。

い。

水循環型営農推進協議会やくまもと地下水財団による涵養節水や水の再生利用による取水量の削減、地下水以外の水源利用、水稲作付推進協議会や水田湛水事業などで地下水量の保全に努める。



田植えを終えた水田

水の質量は地域全体把握を

Q 地下水の取水量と工場排水の状況については、T S M C のみならず、この地域に展開する企業全体の状況を把握すべきではないか。

A 大規模製造業の取水量は県に報告する義務が課されている。排水量は町が把握している。

水質については日量50³m以上の各特定事業所の水質を年4回測定しており、排水基準値を超えていないことを確認している。

環境保全の基礎は信頼関係

Q 水等の環境保全で大事なことは住民・行政・企業間に信頼関係が保たれているか否かにあるが、状況はどうか。

A 熊本県地下水保全条例に基づき、取水事業者における涵養目標が取水量の10割に強化された。

町は白川中流域水稲作付推進協議会を設立し、企業と農業者の調整役を担っている。

県は部局横断的に「地下水保全推進本部」を設立し、以下の取り組みを行っている。

- ①地下水位のリアルタイム確認体制の整備
- ②地下水位の将来予測
- ③営農のみに頼らない涵養対策の検討
- ④P F O A ・P F O S 調査
- ⑤特定公共下水道整備の推進
- ⑥規制外物質の環境モニタリング

この他、地下水についてのセミナー等も行っており、今後とも信頼のもとに共生できるよう努力を続けたい。

排水口は流量多い白川に

Q 特定公共下水道の放流先を県が白川に選定した理由は何か。

A 日向川、堀川、白川を環境や治水への影響から比較検討し、影響が最小となる白川が放流先として選定された。

Q 放流口付近の住民には説明がなされているか。

A 1月に都市計画の素案、5月に事業計画の説明がなされた。熊本市北区の弓削校区に説明会の案内が回覧された。説明会開催の要望があった地域には個別に説明会を開催してゆく意向である。

Q 菊陽町に位置する工場の排気に有害物質は含まれていないか。

A 環境モニタリングの結果、大気中に法令等規制物質の影響は確認されていない。



特定公共下水道排水口説明会

Q 特定公共下水道事業への説明責任は果たしたか

A これからも先も、丁寧な説明を行っていききたい



ふじもと あきふみ
藤本 昭文 議員



Q 菊陽町と合志市とで県に要望した特定公共下水道事業について、県に要望する前に、町民への事前説明や意識調査等を行ったのか。

A 今後、工場排水の増加や既存の下水道施設の能力不足などが懸念されていることから、セミコン周辺においては、新たな下水処理場の整備が喫緊の課題となっている。本来、菊陽町、合志市で整備すべき施設ではあるが、県主体の事業とすることを要望し令和5年11月20日に基本協定を締結した。そのような状況であったことから、当初、要望の段階では事業の実施見通しも不透明であり、町民への説明は不要であると判断した。

Q 既存下水道の能力不足とは、北部流域特定公共下水道のことか。

A 能力が不足するのは、北部流域公共下水道の管及び施設である。

Q 管と施設の能力不足と言うが、施設については現在、1日の最大処理能力が9万8,650

立米に対して、1日の最大の配水量が7万2,000立米、しかも処理槽については新たに10槽目を増設中である。10槽目が完成した場合の最大処理量は11万5,000立米となり、熊本セミコン特定公共下水場の予定最大処理量の2万3,000立米をプラスしても相当の余裕がある。それでも能力不足が生じるということは、他にも要因があるのか。

A 処理場もそうだが、既存の道路に埋設してある下水道管の容量不足もある。

Q そもそも管の能力が不足しているのであれば、処理層を増やし処理能力を上げる意味があるのか。

A そういう能力不足もあるのですが、新たにバイパスなど、配管の能力を補う部分もある。

Q 配管の能力が補われるのであれば、最大処理能力11万5,000立米が可能になり、新しく下水場を作らずとも既存の施設で処理可能なはず、それでも新しい施設が必要なのか、い

れにしても、今後、熊本サイエンスパーク構想も含め半導体企業の集約、集積という中で、更なる工場誘致を見据え、その時にやるのではなく、大義名分のある今のうちにやっておこうという考えがあるのか。

A 熊本サイエンスパーク構想の中で、いきなり企業が来て、そこから処理場をつくるのではなく、間に合わないわけで、この事業については、ある程度の余裕を持つてやるのが、ひいては町民の皆様、県民の皆様の不安の解消につながる投資だと考え、先行した取組になっている。また制度上、県の立場からすれば、合志と菊陽でやってくださいとも言える。その上で、国策として取扱うことで、県としてもしっかり責任を持って国に働きかけ、特定公共下水という制度を選択された。これによって社会資本整備交付金とは別枠の中で、この処理場に対しても補助事業が位置づけられ、結果としてスピード感を持った対応が可能となった。

その他の質問

○消防団

- ・定数及び充足率は
- ・組織の維持は困難という団員の声に町はどう対処するのか

○公費による防犯カメラの設置

○杉並木公園テニスコート

- ・開業後の運用実績は
- ・維持管理費の回収について、具体的な試算を示せ



そういった形で、今回、特定公共下水に、新たに取り組んだということは、私ももしかかり町民の皆様に説明する責任があるということは、改めて理解した。これから先も議会または町民の皆様に丁寧な説明を行っていきたいと考えている。

Q 南部地区新設道路計画実現に向け、今後の施策は

A 南部地区新設道路は最適なルートを選定、道路の構造を検討



馬場 功世 議員



Q 南部地区新設道路の計画実現に向けて今後どのような施策を講じていくのか。

A 南部地区新設道路については、昨年11月から概略設計に着手しており、最適なルートの選定や道路構造の検討を進めている。県道瀬田熊本線は、本町の南部地区の生活道路や菊陽南小学校の通学路として地域住民と密着している重要な路線であることから、町では、本年2月に、中村県議、福島議長同席のもと、吉本町長より熊本県に対して、改善の要望活動を行い、課題解決に向けて、県と町で連携していくことで意見を交わし、現在は、課題解決に向けて、県と勉強会を行っている。



県道瀬田熊本線の課題解消と、南小学校区の発展に向けた南部地区新設道路の実現に向けて、勉強会を重ねていく。

菊陽町特産品・記念品開発の進捗状況は

Q 菊陽町の特産品としての記念品、土産品の開発について。

A 本町では、にんじんを活用した商品開発を進めている。2011年度には人参焼酎「酔紅」、2019年度には、「ゴロッと！にんじんとチキンのカレー」を開発、現在も継続して製造・販売を行っている。



本年2月には、にんじんジュース「うまcarrot」を開発、5月1日から販売開始。農業への理解を深めてもらうため、にんじんジュース「うまcarrot」を学校給食に提供、食農教育にも取り組んでいる。今後も菊陽町の特産物を活用した商品の開発・販売を行い、菊陽町を広くPRしていく。

食料品の物価高騰に伴う町独自の対策は

Q 食料品の物価高騰に対し、町独自の給付金等対策の考えはないか。

A 町では、「低所得者世帯・子育て世帯への支援」や、「省エネ家電等への買い換え促進による生活者支援」など、地域の実情にあった事業の実施に取り組んできた。全ての世帯を対象とした給付金等の支給は、国等で実施することを想定したものである。町では、地域の実情にあった事業の実施に努める。

テニスコートの利活用について

Q 杉並木公園のテニスコートが新設されたが、こけら落としとして、町内大会等の考えはないか。

A 当初、こけら落としとして、著名なテニスプレイヤーをお迎えし実施できないか検討したが、日程が合わず、こけら落としのイベントは断念した。

6月8日第76回菊池郡市民体育祭ソフトテニス競技が本町で初めて開催され、菊池郡市2市2町の選手による白熱した競技が繰り広げられ、今後もさまざまな利用が見込まれる。

Q 給水施設や観覧席の設置はできないか。

A 給水施設については、熱中症対策も含め、利用者の方の利便性の向上となるよう、給水施設を1箇所整備している。

今後はテニスコ場周辺に、利用者への環境改善を図るため、自動販売機等の設置を考えている。

観覧席の設置については、テニスコ場の敷地において、設置するスペースが無い状況、観覧席を設置することは困難である。

その他の質問

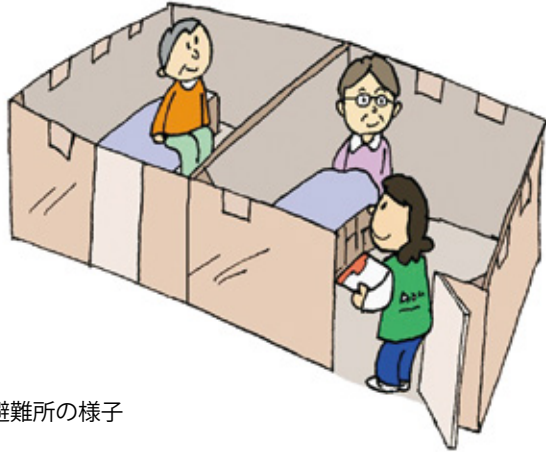
- さんさん公園のトイレを洋式にできないか
- 鼻ぐり公園街灯の増設はできないか

Q 防災会議、防災職員の女性起用を増やすべき

A 令和7年度は防災会議女性委員を9名委嘱した



佐々木 理美子 議員



避難所の様子

Q 災害があると障がいがある方や妊婦など特有の事情がある方が見落とされてしまう。防災会議委員、防災課職員の起用を増やすべきだと思うがどうか。

A 令和7年度の防災会議に向けて、新たに9名の女性委員を委嘱した。全体53名中11名が女性委員となった。これで41%から20.7%となった。更に30%を成果目標としている。防災職員の女性起用については、職員配置計画を行う中で考えていく。

防災行政無線の戸別受信機無償貸与を

Q 高齢者家庭への戸別受信機無償貸与をどのように進めるのか。

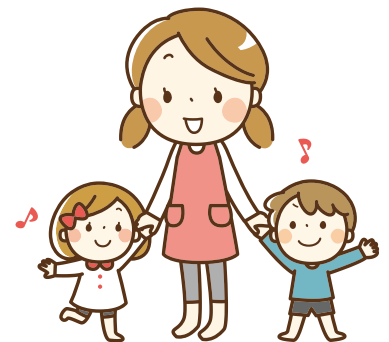
A 75歳以上のみの世帯を対象として、6月下旬に対象世帯に個別の通知を発送。きくよう広報にも掲載。なお、個別受信機の貸与は今年度限りではなく次年度以降も継続して実施していく。

Q 対象世帯、台数はどうなっているのか。

A 対象の世帯は通知文の発送は2400世帯、台数は1200台である。



現在使われている戸別受信機



Q 保育園児童数の推移と今後の推移はどのように考えているのか。

A 町内保育施設への入所児童数の実績は令和5年度が1566人、令和6年度が1506人、令和7年度が1467人となっている。今後の推移は、住民基本台帳から統計した結果、0歳から5歳までの児童数は年々減少し、令和11年度は、1286人と予測している。

Q 待機児童、保留児童は解決しているのか。

A 待機児童は本年4月1日現在ではゼロと解決している。保留児童の数は、令和6年4月62名、令和7年4月28名ということで減少している。

タブレット端末をすぎなみ教室に配備を

Q タブレット端末を小中学校と同様にすぎなみ教室（適応指導教室）に配置すべきだと思うが、どう考えるか。

A 本年度までは予備機の台数は増えたが、修理と故障の台数がほぼ変わっていないかったので、すぎなみ教室に配置するのは難しい状況であった。

令和8年度のタブレット端末の更新時では、すぎなみ教室の先生にも配布していきたい。



すぎなみ教室（中央公民館）

Q 米価支援として、低所得者に1万円支援ができないか

A 国が、米価の引き下げの施策を行っているので、町単独では考えていない



こばやし くみこ 議員
小林 久美子



Q 物価高対策について質問する。4月から食品が4,255品目値上げされ、電気・ガスも支援が打ち切られている。米の価格も大問題になっている。地元の米も以前の価格の倍である。町民の暮らしを守るために緊急の支援が必要だと考えるが、町の見解はどうか。

A 米価高騰支援については、現在、国が米価の引き下げの施策を行っているので、町単独での1万円の支給は考えていない。

Q 私は、コメの供給そのものが足りずに価格が以前の倍になっていると思うが、町長の見解はどうか。TSMCの税收増についても、町民の皆さんに還元できるのではないか。

A 米の価格は、国の施策によって落ち着くと考えている。TSMCの税收増の還元については、令和8年度以降も、低所得者世帯をはじめ高齢者福祉、子育て支援を中心に効果的な取り組みを実施していきたい。

熱中症対策について

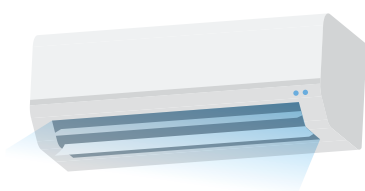
Q 昨年の議会でも取りあげたが、低所得者世帯の高齢者にエアコン購入費の助成事業ができないか。物価高も続き、生活保護で電気代も辛抱してエアコンもつけない、エアコンが壊れても修理ができないなどで、熱中症になり病院に運ばれたなどの事例も聞いている。体温調節機能が低下している高齢者の人また持病がある人に特別な配慮と注意が必要である。

A 本町では、全世帯を対象に省エネ家電の助成を過去3回実施した。



Q この省エネ家電購入の制度では、裕福な人であればいくらでも申請でき、マイナンバー制度の普及が政策の一つの目的であった。生活が厳しい生活保護の方へのエアコンの設置状況など、ぜひ調査して対応してほしい。これだけ猛暑の状況では、調査も必要だと提案する。

A 個別の調査については、今後、県の方にも検討するよう協議していきたい。



避難行動要支援者の個別計画は進んでいるのか

Q 町では今年度、75歳以上の高齢者世帯を対象に個別受信機の配備を進めると聞いているが、個別避難計画の策定状況はどうなっているのか。

A 町の避難行動要支援者は、現在2,565人で、避難計画の策定に同意されている方は、620人で計画策定率は88%である。今後も策定率向上に取り組んでいく。

福祉避難所については、町立5カ所、協定福祉避難所は4カ所である。

Q 坪井川の調査地点で、2種類の有機フッ素化合物の濃度が増加しているが、町の認識はどうか。

A 環境モニタリング委員会は、「現時点では問題ないレベルだが、今後継続的なモニタリングが必要である」とされており、町としても注視していく。

その他の質問

- ・交通渋滞
- ・通学路の安全対策

Q 道路の異常を早期検知するための対策は

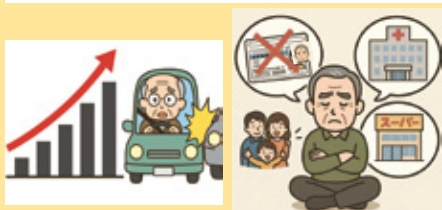
A AIカメラを導入し、道路の異常の見落とし防止と迅速な対応に努めていく



おに つか 鬼塚 洋 議員

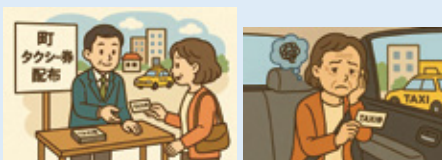
高齢者の免許返納の推進を！

高齢者の自動車事故が問題となる中、免許返納はしたいものの、代替手段がないため、



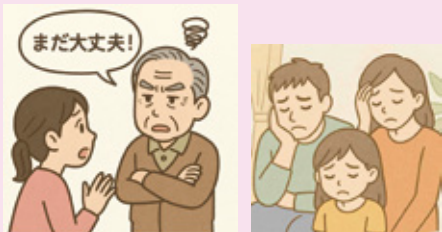
返納を見合わせる方も少なくありません。

町も、免許返納に際して、タクシー券を交付するなど、返納の推進に取り組んでいますが、



1回限りの交付であり、その金額や使い勝手については、十分ではないと考えます。

また、家族が免許返納を希望しても、自己の能力を過信して、返納を拒む方もおられます。



これに対しては、実際の事故動画を見て、運転をすることのリスクを再認識してもらう、



免許返納に関する相談窓口を設けるなど、町において対策することが求められます。

イラスト作成：ChatGPT (OpenAI) による AI 生成

その他の質問

○町の管理する駐車場に設置された防犯カメラ

- ・カメラ映像の保全状況
- ・事故時の町民への開示方法

Q 近年、道路の異常（陥没、ひび割れ等）を原因とする車両事故が多発している。県では本年より、道路の異常を早期検知するためにAIを活用した点検システムの導入しているが、本の現状と対策は。

A 令和5年度より、点検マニュアル等を制定し、道路パトロールを強化している。また、本町でも、本年よりAIカメラを活用したドライブレコーダー型の点検システムを道路パトロール車1台に導入予定である（年間予算150万円）。これにより、人の目視とAIでの二重チェックが可能となるため、道路の異常の見落とし防止と、迅速な対応に活かしていきたいと考えている。

Q 現状の道路異常通報システムによる年間通報件数は。

A 令和6年度は主に穴ぼこ等で73件の通報を受けている。

Q 免許返納が進まない要因は、主に①「まだ（自分は免許返納しなくても）大丈夫」という高齢者の認識と、②「免許がないと困る」という代替手段の不足にあると考える。本町は5年後の免許返納率を2割強増やすと目標設定しているが、具体的な取組みは。

A 返納時に交付するタクシー券の使い勝手を向上し、返納手続に当たり電子申請の導入を検討している。

Q ①について、高齢者に実際

高齢者の免許返納について

の交通事故動画を見せて、運転を抑止するよう働きかけたり、社会福祉協議会の相談事業で免許返納に関する家族からの相談を受けるなど対応できないか。

A そうした必要性もあることから、今後検討していく。

小学校の個別登校について

Q 菊陽西小学校における個別登校開始後の現状は。

A 地域ボランティアや交通指導員等の協力を得ながら児童の安全確保に努め、各地区の挨拶運動答弁の人数を増やして見守りの強化を行っている。現場からも、個別登校時には児童に笑顔が見られ、大きな声で挨拶してくれるようになったとの話も上がっている。

交通災害共済制度について

Q 直近の見舞金の支給件数と支給総額は。

A 令和6年度は42件の申請で151万円を支給している。

Q 実際の申請率は10%位ではないかと考えている。申請率向上のために、事故の治療を行う病院や整骨院へも広報すべきではないか。

A その点も考えながら、周知の拡大を図っていく。

Q どうしても個別登校に不安がある旨の申し出があった場合にどうするのか。

A 登下校は原則、保護者の責任において行っていたが、学校としても相談があれば、個別にできる限り対応をしていく。

Q 農地の保全と集落地内開発制度との整合性は

A 指定区域は基盤整備済農地など農振農用地を含まないエリアとなっている



ふた 布田 さとる 議員



Q 集落地内開発制度の推進は緑地や地下水などの自然環境保全に逆行すると思うが、どうとらえているか。

A 集落地内開発制度は既存集落の維持や地域活力の低下防止を目的に都市計画法に定めた県の条例である。

市街化調整区域内の概ね50以上の建築物が50m圏内に連たする区域で住宅などの建築を可能とする制度であり、本町ではこれまで約1560棟が建築され、地域コミュニティ維持の一翼を担っている。

開発可能な指定区域があることで、既存集落の維持や、無秩序な開発は制限され、開発許可基準により、雨水処理は地下浸透槽の設置で地下水保全もされている。

Q 地区別構想における「良好な農地の保全」とは何か。

A 「守るべき農地ゾーン」に区分する農業振興地域内の農用地等を保全することであり、保

全の方針としては、農業基盤の維持・強化を図りながら保全に取り組み、農地の大規模化や生産性の向上に取り組む。

Q 本制度の実績では、菊陽北小学校区で876棟が建築されている。面積1128ha（町地面積の約30％）の大部分が市街化調整区域である。

菊陽南小学校区は面積1336ha（町面積の約6％）で全域が市街化調整区域であり、197棟が建築されているが、北小学校区の約4分の1である。

改正前のマスタープランから約20年が経過しているが、県道曲手小山線（通称国体道路）が白水台地の東西を貫いたのみで、全く変化していない。

そのような状況の中、特例的に、町が5年間位を目途に南小学校区を変えていく気持ちで取り組んでもらいたいと思うが如何考えるか。

A これまでは、町のマスタープランの実行が伴っていないかつ

たが、新マスタープランでは、南小学校区を道路整備と併せて集住ゾーンと位置づけ、その実現に取り組んで行く。



南小学校区 将来構想図

町内各センター講座の講師謝礼金について

Q 町主催の講座については、平成24年の講師謝礼金支払基準訓令で定められているという事だが、講師謝礼金は当時のままで一回当たり5000円であ

る。

定期的に値上げが必要であると思うが如何思うか。

A 講師の方よりも見直しについて相談があつており、各センター長で構成の会議で協議をしている。

賃金等の上昇もあり、近隣自治体の状況を注視し検討を進める。

Q 自主講座への補助は考えているか。

A 考えていない。（要望）近隣自治体は講座の補助者への半額支払いや交通費を出すケースもあり、菊陽町よりも一歩講師の事を考慮した謝礼体系である。すぐに謝礼金値上げなどの措置を講じてもらいたい。



Q さんふれあを有効利用することで売上増へ

A 大規模改造を進めるなかで宿泊機能も検討する



さとう たつみ
佐藤 竜巳 議員



Q スポーツ広場を人工芝にすることで、年中イベントが可能となり青少年の交流の場になると考えるが町の考えは。

A 整備に多額の費用がかかること、多目的利用をされており、競技に偏らない全体への配慮が必要。人工芝への転換は困難である。



さんふれあの大広間

Q スポーツ交流後の中学生以下限定で、大広間を宿泊施設にすることで売り上げ増加に対する町の考えは。

A 県内外から多くの来館者が予想されるため、検討材料の一つとして考えたい。

Q 上水道の整備は水道企業団が行うと思うが、その整備費用は町が負担するのか。

A 今後、大津菊陽水道企業団と協議を行っていきたいと考えている。

Q 区画整備事業により下水道処理量が増えることになるが、流域処理場の処理能力は大丈夫か。

A 北部浄化センターでの障害はないと考えている。

仮称原水駅周辺土地区画整理事業における上下水道整備計画について



スポーツ交流会の様子

Q 道路を造る際、雨水の問題が出ると思うが、町はどのように考えているか。

A 周辺地域への影響がないような形で、関係団体と協議しながら計画をしていく。

Q 町道南方大人足線から県道瀬田竜田線までの延伸計画道路の整備について、進捗状況はどのようなになっているか。

A 令和9年度の都市計画決定、令和10年度の事業認可を目標として事業に取り組む。

道路整備事業について



(仮称) 原水駅周辺土地区画整理事業



中尾線歩道整備予定地(画面右側)

Q 町道中尾線歩道整備事業について、進捗状況はどのようになっているか。

A 現在、用地交渉に取り組んでいる。今年度末の工事完了に向けて今後進めていく。



今後開発予定の久保田台地

各常任委員会のメンバー紹介と事業のポイント

常任委員会の役割

6月定例会で委員会構成が変わりましたので紹介します。

常任委員会は、町の施策（議案）に対し、これをただし、それと併せて、議論を活発化させ、町の発展、議会運営がスムーズに行くための重要な委員会です。

総務住民生活常任委員会

委員長 大久保 輝

抱負
町民の声に寄り添い、安全・安心な町づくりを推進します。

6月定例会での委員会は、3月に議決された令和7年度当初予算の内容について質疑を行った。

令和7年度事業のポイント

総務部

- ・ 公用車管理デジタル化
- ・ 4月より「消防団応援の店」を開始
- ・ 防災行政無線の個別受信機を高齢者へ貸与
- ・ 東部町民センター大規模改修工事設計業務

住民生活部

- ・ 行かない窓口の推進。6月1日からコンビニ交付の手数料を10円にする。



後列 左から

西本 友春
上田 茂政
岩下 和高

前列 左から

甲斐 榮治
大久保 輝
鬼塚 洋

文教厚生常任委員会

委員長 矢野 厚子

抱負
議員7年目で、初めての委員会です。新たな課題と向き合います。

令和7年度事業のポイント

健康福祉部

- ・ 母子手帳アプリの導入
- ・ スマホで予防接種スケジュール管理・成長記録・情報発信や住民アンケート機能に活用。

教育委員会

- ・ 学校給食の完全無償化の開始
- ・ 町外へ通う児童・生徒にも対応、町外から通う場合は有料。
- ・ また、不登校の子ども、長期欠席児童に対しても補助金を支払う。



後列 左から

藤本 昭文
坂本 秀則

前列 左から

佐々木理美子
矢野 厚子
馬場 功世

経済産業建設常任委員会

委員長 廣瀬 英二

抱負
ハード・ソフト両面から、渋滞緩和対策を積極的に提案・推進していく。

令和7年度事業のポイント

都市整備部

- ・ 道路ネットワークの整備
- ・ 原水駅周辺土地地区画整理事業
- ・ 下水道事業経営戦略
- ・ J R新駅整備など

産業振興部

- ・ 担い手・新規就農者育成
- ・ J A菊池人参選果場利用料支援
- ・ 特産品の開発・販売促進
- ・ 企業誘致の推進など



空港線 現地視察



後列 左から

中岡 敏博
布田 悟
佐藤 竜巳

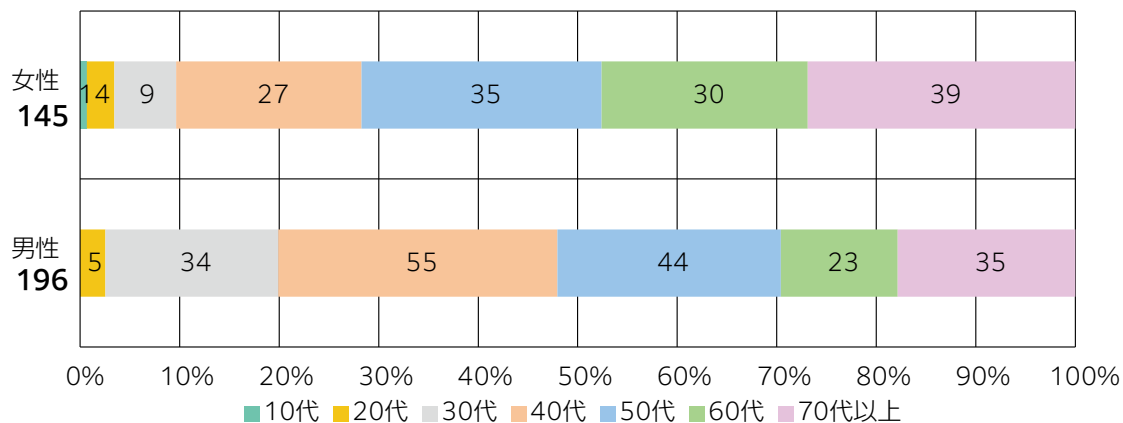
前列 左から

小林久美子
廣瀬 英二
吉村 恭輔

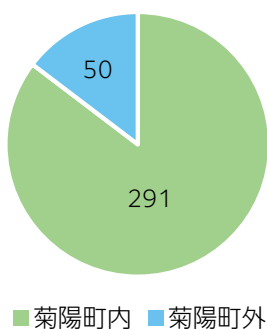
アンケート調査結果

調査期間：6月30日～7月31日
回答総数341人

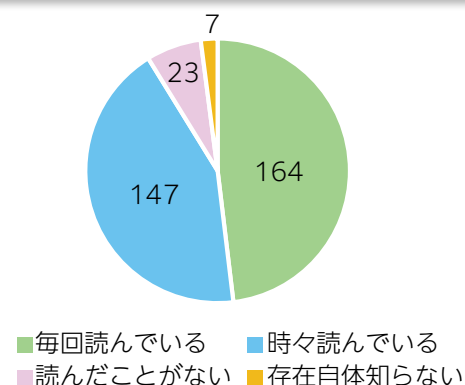
【男女別・世代別】



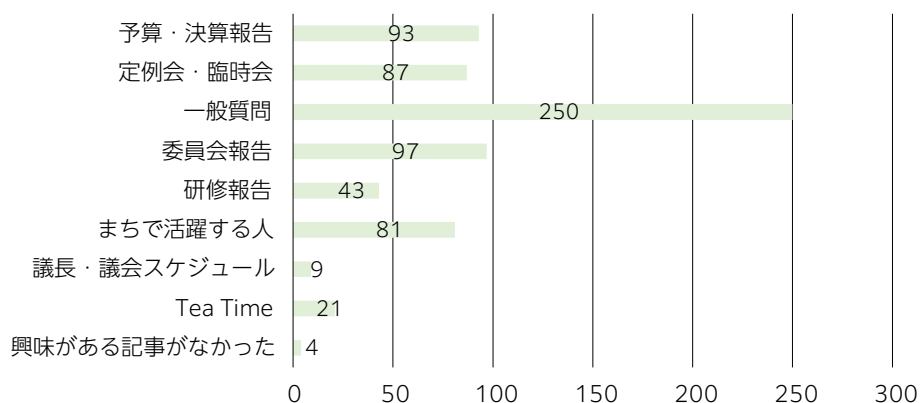
【お住まい】



【広報誌の視聴状況】



【興味ある記事】

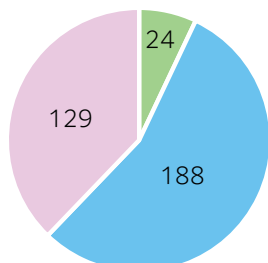


アンケート調査にご協力を頂きました皆様、大変ありがとうございました。

皆様から頂きました貴重な意見に対し、改善できるものに対しては積極的に取り組んでまいります。今後も機会あるたびにアンケートを実施して町民の皆様のご意見を承りたいと思いますので、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

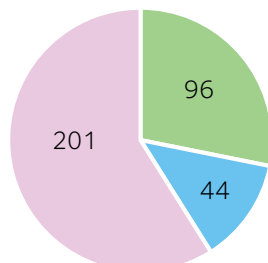
菊陽町議会だよりに関する

【今後取り上げてもらいたい記事】



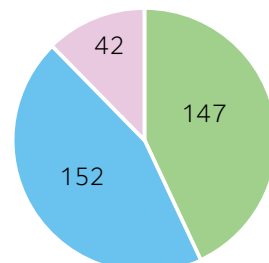
■ 町の財政
■ 町の政策
■ 議会・議員の活動

【町議会の傍聴】



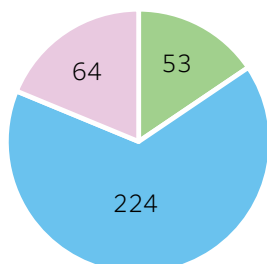
■ 傍聴したことがある
■ 傍聴したいが日程が合わない
■ 傍聴したことがない

【ライブ中継】



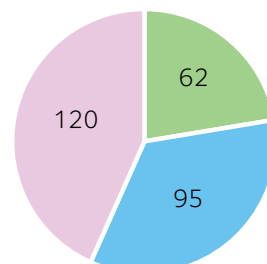
■ ライブ中継の配信は必要
■ 将来的には必要
■ ライブ中継の配信は必要ない

【議会と町民との意見交換会】



■ 積極的に参加したい
■ たまには参加したい
■ 参加しない

【意見交換会の開催頻度】



■ 定例会毎に年4回の開催
■ 年2回の開催
■ 年1回の開催

【頂いた主な意見】

- ・ 文字を大きくし、イラストや写真で目に訴えて分かるように
- ・ 一般質問、委員会での質問の進捗状況を報告してほしい
- ・ 議会開催から発行までの期間を短くしてもらいたい
- ・ 紙ベース以外のデジタルやスマートホンでも見れるように
- ・ 議員一人一人の活動状況をシリーズ化し掲載してほしい
- ・ 議員を身近に感じてもらうために、議員インタビューのページを設けたら
- ・ 日頃の議員活動記録及び議会以外の活動を掲載したらどうか
- ・ 町の人々の写真やコメントがあると良いと思う
- ・ 一般質問の記事構成は人により格差があり、読みづらいものがあるために統一した方が良いと思う
- ・ 「手に取ってもらえる議会だより」としておしゃれなデザインの表紙やキャッチコピーがあると、若い人にも興味を持ってもらえる

議会の活動状況

● 議長の公務記録

日付	事業・イベント名	主催者
4月1日～4日	公文書押印	
4月2日	地域高規格熊本環状道路建設促進期成会（会計監査） 白川改修促進期成会（会計監査） 議会改革推進特別委員会	熊本市長 熊本市長 委員長
4月3日	小牧副町長 政策協議	
4月4日	国土交通省（東京） 要望活動	菊陽町
4月7日～11日	公文書押印	
4月9日	菊陽町立菊陽西小学校 入学式 菊陽町立菊陽武蔵ヶ丘中学校入学式 なかよし保育園拡張要望書 受領式	菊陽町立菊陽西小学校 菊陽町立菊陽武蔵ヶ丘中学校 中区区長
4月11日	菊陽町福祉センター綴帳寄付に係る感謝状贈呈式（町建設業協会へ）	
4月14日	菊陽町商工会青年部 総会・懇親会（来賓挨拶） 政務活動費チェック	菊陽町商工会青年部
4月14日～18日	公文書押印	
4月15日	JA菊池 人参選果施設整備 起工式	菊池地域農業協同組合
4月16日	令和7年度 保護司会菊陽支部総会（来賓挨拶）	保護司会菊陽支部
4月17日	議員互助会 総会資料検討 政務活動費チェック	
4月18日	パワーポイント研修	
4月21日	臨時会 全員協議会 令和7年度 議員互助会総会	菊陽町 菊陽町議会 菊陽町議会
4月21日～23日	公文書押印	
4月22日	菊陽町造園協会総会（来賓挨拶）	
4月23日	令和7年度菊陽町更生保護女性会 総会（来賓挨拶）	菊陽町更生保護女性会
4月24日	熊本県・県議会・自民党県連へ要望活動 菊陽町建築業組合総会（来賓挨拶）	熊本県町村議会議事会 菊陽町建築業組合
4月26日	白川「緑の区間」竣工式	熊本県・熊本市・国交省
4月28日	公文書押印 議会改革推進特別委員会	議会改革推進特別委員会
4月30日～5月2日	公文書押印	
5月1日	津久礼交番開所記念式典	大津警察署
5月3日	憲法フォーラム	
5月7日～9日	公文書押印	
5月8日	菊陽町商工会 後藤会長来庁対応	
5月10日	菊陽町地域女性の会総会（来賓挨拶）	菊陽町地域女性の会
5月11日	佐藤孝子健康教室35周年記念発表会	佐藤孝子健康教室
5月12日	公文書押印 菊陽町文化協会定期総会（来賓挨拶）	菊陽町文化協会
5月14日	公文書押印 大津地区防犯協会（会計監査）	大津地区防犯協会
5月15日	菊池地域市町議会議長・事務局長合同会議	菊池地域市町議会議長会
5月16日	公文書押印	
5月18日	武蔵ヶ丘中学校 体育大会	武蔵ヶ丘中学校
5月19日	下水道事業説明会	熊本県
5月19日～21日	公文書押印	
5月20日	青少年健全育成町民会議 総会	青少年健全育成町民会議
5月21日	菊陽町商工会 工業部会総会	
5月22日	菊陽町商工振興協同組合 総会（来賓挨拶）	菊陽町商工振興協同組合
5月23日	熊本県町村議会議長会 理事会	熊本県町村議会議長会
5月25日	菊陽西小学校 運動会	菊陽西小学校
5月26日	令和7年度菊陽町商工会通常総会（来賓挨拶） 公文書押印	菊陽町商工会
5月27日	令和7年度全国町村議会議長・副議長研修会（東京にて）	全国町村議会議長
5月28日	熊本県選出の国会议員へ要望（東京にて）	熊本県町村議会議長会
5月28日～30日	公文書押印	
5月29日	国道57号整備促進期成会 総会 中九州・地域高規格道路推進期成会 総会	国道57号整備促進期成会 中九州・地域高規格道路推進期成会
5月30日	菊陽町防災会議	菊陽町
5月31日	福祉センター完成記念芸能大会（来賓挨拶） 高校総体（剣道）	菊陽町文化協会 菊陽町老人クラブ 連合会

議会の活動状況

●議長の公務記録

日付	事業・イベント名	主催者
6月2日	菊陽町飲食業同業組合 総会（来賓挨拶）	菊陽町飲食業同業組合
6月2日～6日	公文書押印	
6月3日	熊本県町村議会議長会研修会 熊本県町村議会議長会 臨時総会	熊本県町村議会議長会
6月4日	令和7年第2回定例会 開会 全員協議会	町長 議長
6月5日	令和7年第2回定例会 一般質問	町長
6月6日	令和7年第2回定例会 一般質問	町長
6月7日	熊本県商工会青年部連合会城北地区大会	熊本県商工会青年部連合会
6月9日	令和7年第2回定例会 一般質問 菊陽町一JASM チャリティーイベント（来賓挨拶）	町長 菊陽町、JASM
6月9日～12日	公文書押印	
6月10日	令和7年第2回定例会 一般質問	町長
6月11日	文教厚生常任委員会	文教厚生常任委員会
6月12日	菊池広域連合事務局来庁対応	菊池広域連合事務局
6月16日	公文書押印 令和7年第2回定例会 議案審議 夢街光の森会 総会（来賓挨拶）	町長
6月17日	菊池地域広域連合議会議員 定数調査検討特別委員会 九州地方整備局訪問	特別委員会 菊陽町
6月18日	菊陽町男女共同参画 「さんさんの会」 総会（来賓挨拶）	菊陽町男女共同参画さんさんの会
6月19日	公文書押印 令和7年度 菊池地域農業協同組合第36回通常総代会（来賓祝辞）	菊池地域農業協同組合 菊池地域献穀事業推進協議会
6月20日	御田植祭	
6月23日	公文書押印	
6月24日	住まいのことならおまかせ隊総会（来賓挨拶）	住まいのことならおまかせ隊
6月25日	菊池郡・阿蘇郡議会議長会	菊池郡・阿蘇郡議会議長会
6月25日～27日	公文書押印	
6月26日	熊本県町村議会議長会	
6月27日	くまモンアーバンスポーツパークデザイン発表セレモニー	
6月30日	公文書押印	

●議会運営委員会

日付	事業・イベント名	主催者
5月29日	議会運営委員会	議会運営委員長
5月30日	町防災会議	町長

●総務住民生活常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者
5月23日	老連グラウンドゴルフ大会（議長代理）	
6月11日	常任委員会	

●文教厚生常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者
6月11日	常任委員会	
6月28日	社会福祉協議会	社会福祉協議会

●経済産業建設常任委員会

日付	事業・イベント名	主催者
5月15日	農業委員会 菊陽建設業協会総会（議長代理）	菊陽建設業協会
5月26日	商工会総会	
5月30日	菊陽町防災会議	
6月11日	常任委員会	

●広報調査特別委員会

日付	事業・イベント名	主催者
4月18日	広報委員会（3月議会だより1校作成）	広報調査特別委員会
5月15日	広報委員会（3月議会だより2校作成）	広報調査特別委員会
5月27日	広報委員会（3月議会だより3校作成）	広報調査特別委員会
6月10日	広報委員会（3月議会だより最終校作成）	広報調査特別委員会
6月13日	広報委員会（6月議会だより紙面割）	広報調査特別委員会



津久礼交番です、よろしくお願いします！

津久礼交番は、昭和47年12月に津久礼駐在所として設立され、平成12年3月に建物が新設、平成22年4月からは勤務員を複数にして、地域に根ざした活動を行って参りました。

近年、半導体関連企業の集積等により、菊陽町の生活環境及び道路環境が大きく変化するなか、住民の皆様の安心安全な生活を確保するため、このたび、津久礼駐在所の体制を強化し、令和7年3月31日から津久礼交番として運用することとなりました。

建物等は既存の施設をそのまま使用しておりますが、交番化したことにより、

- 24時間運用による夜間のパトロールや事案処理能力の強化
- 光の森交番の管轄の一部を移管による交番の受け持ち世帯数の最適化
- 児童の通学路警戒の強化

などが図られ、津久礼交番の開所以降、菊陽町における刑法犯認知件数、交通事故件数ともに減少傾向で推移するなど、一定の効果が現れているところであります。

また、事件・事故の対応やパトロールのほか、

- 困りごとの相談
- 落とし物の預かりや返却
- ミニ広報誌の作成
- 地域の行事への参加

なども行っていますので、困ったときには、いつでも交番を訪ねてきてください。

私たちは、これからも菊陽町の皆さんの期待と信頼に応えるべく、交番員一同、力を合わせ、職務に邁進していきます。

大津警察署 津久礼交番

☎096-294-0110（内線521）



交番開所式の様子



交番勤務員



交番前での立番

編集後記

馬場 功世

春夏秋冬の四季は季節感が無くなり冬と夏の二季になったのか、人の体温より高い気温、異常気象が当たり前のようになっています。熱中症にならないように気を付けましょう。

梅雨明けが平年より早くなり、降水量も少なく今後、農作物への水不足が心配されます。令和の米騒動があり、備蓄米が放出され、また、アメリカから関税引き上げが要求され、農産物を貿易の取引材料にしないとか。

農家の手取りが増えなければ、米作りは続けられません。生産者の「米価」と消費者の「値ごろ感」にどう折り合いをつけるか、ここは政治の出番でしょう。（高い時だけ報道しないで安い時も報道してよ）

良くも悪くも消費者の農家への関心が高まっています。食料は命の源、秋の豊作を祈るばかりです。

みなさんの 傍聴を お待ちしています。

議会からお願い

議会だより取材のため、腕章を着用した議会の広報委員が写真撮影に伺うことがありますが、ご理解とご協力をお願い致します。

発行責任者

編集者

議長 長 福島 知雄

副委員長 廣瀬 英二

委員 藤本 昭文

委員 西本 友春

委員 馬場 功世

委員 吉村 恭輔

委員 鬼塚 洋

この議会だよりは再生紙を使っています。